あなたの
ボランティア活動を
応援する情報誌だよ

ぼらんてぃあ川口

R8．11．1
142号

社会福祉法人 川口市社会福祉協議会
かわぐちボランティアセンター
編集：ぼらんてぃあ川口編集員
〒332-0015
川口市川口１丁目１番１号キュポ・ラ本館棟
Ｍ４階
TEL：048 - 227 - 7640
FAX：048 - 227 - 7641
https://kawaguchisyakyo.jp/volun/

リピーター多数！介護の現場を見て・知って・体験して！

サービス付き高齢者向け住宅 ＳＯＭＰＯケア そんぽの家Ｓ川口上青木
～ＳＯＭＰＯケア子ども食堂～

＼　建物管理者　小田桐さんに伺いました　／

Q．活動を始めたきっかけは？

２０２３年から入居者様と地域のかたとの交流を目的とした子ども食堂をスタートしました。開催当初はなかなか認知度が上がらなかったのですが、ボランティアセンターに団体登録をしたところ少しずつ問い合わせが増え、口コミでも人が集まるようになりました。現在では、幼児から社会人のかたまで、幅広い年齢層の方々が参加して下さっています。



▲小田桐さんにインタビュー

Q．どんな活動を？

月１回『ＳＯＭＰＯ流 子ども食堂』を開催し、食事の配膳やレクのお手伝いをしていただいております。子ども達やボランティアさんが配膳してくださることで入居者様の笑顔が溢れます。皆さんにもＳＯＭＰＯケアのお食事を召し上がっていただき、午後からは、制作・工作・夏祭り・花火祭り・運動会・クリスマス会など季節に合わせたレクの開催です♪子ども達やボランティアさんと一緒に活動できることが入居者様の楽しみや活気につながっています。



Q．読者のみなさんへメッセージを

ボランティアをやってみたいけど何から始めたら良いか分からない…。介護に興味はあるけれど…。
というかたは是非、ＳＯＭＰＯケアの多くのホームで開催している子ども食堂にいらしてみませんか？
きっと心温まるひとときを過ごしていただけると思います。また、ボランティア活動を通して介護に関心を持っていただけたら幸いです。参加して下さったかたにはお土産や、回数に応じてプレゼントも準備しています♪

ボランティアさんにインタビュー！

日本で学生生活を送っていた頃、知人から子ども食堂の存在を教えてもらい、「ボランティアに参加してみたい」と思ったことが活動のきっかけだったそうです。最初は入居者に気を使う場面があったものの、最近は顔見知りになり充実した時間を過ごせているそう。「平日の仕事で張り詰めていても、人生それだけではない。ボランティア活動が自分の息抜きになっています」と、力強く語ってくれました。



ドゥシャーンさん



「ニコニコ笑顔ボランティア」
第25回ボランティア見本市に行ってきました！



当日は暑すぎず寒すぎず、イベント日和のお天気！！
会場には、日頃からボランティア活動に取り組んでいる、
さまざまな団体が集まり、にぎわいを見せていました！



▲折り紙で作った作品



▲ミニボッチャ



▲オープニングステージ

折り紙で作った作品の展示ブースにおじゃまますると、
思わず足を止めてしまうほどの素敵な折り紙作品がずらり！
はらぺこあおむし、独楽（こま）、クリスマスツリーなど、
折り紙とは思えない作品の数々にびっくり！
編集員も作品を一つお土産にいただいちゃいました♪

さらに会場では盲導犬や手話体験も盛りだくさん！
ミニボッチャやタロット占いも体験してきました♪(〃>ᴗ<〃)



▲社助ときゅぽらん

川口駅前には、マスコットキャラクター「社助」（川口市社協）と、「きゅぽらん」（川口市）の姿を発見！
一緒に写真を撮ろうと、多くの人が集まっていました！(｡•ω•ꔫ)
今回のイベントを通して感じたのは、ボランティアにはさまざまな楽しみ方があるということ。
作品を作ったり、人と交流したり。ボランティアを身近に感じられる素敵な一日になりました！



通年ボランティア レッツ★ボラ活 募集中！

「夏休み期間以外にも、ボランティア活動がしたい！！」という青少年の皆様にお届けする体験プログラムです。
全１６コースから、自分にあった体験を選んで参加してみましょう！！

●申込対象：川口市内在住・在学・在勤の小学生以上
概ね２５歳まで

●実施期間：１０月下旬から２月下旬まで

お申込み・詳細はこちら！⇒

－ 編集後記 －

新人編集員です。
今回、子ども食堂を訪れて、最初はあまり集客が無かったけど、ボランティアセンターに情報を載せたら急に人が集まるようになったとのお話を聴き、情報の重要性を再度認識しました。
ぼらんてぃあ川口の編集員としてできるだけ有益な情報を提供していけるよう心がけていきます。

（ぼらんてぃあ川口編集員 T．K）

